

# 平成 27 年度 日本心臓財団事業報告

## I. 個人研究に対する助成事業（別添対象者一覧参照）

### 1. 第 41 回日本心臓財団研究奨励

奨励金額：1 件 200 万円を 10 件

応募資格：1975 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募数：39 件

### 2. 第 6 回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励

奨励金額：1 件 100 万円を 3 件

応募資格：基礎研究室に所属の 1975 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募数：第 41 回日本心臓財団研究奨励に含む

### 3. 第 6 回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励

奨励金額：100 万円を 1 件

応募資格：女性で 1975 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募数：第 41 回日本心臓財団研究奨励に含む

### 4. 第 3 回日本心臓財団拡張型心筋症治療開発研究助成（ほのかちゃん基金）

助成金額：1 件 200 万円を 2 件

応募数：11 件

#### 1～4 に共通

応募受付：平成 27 年 9 月 1 日～10 月 15 日

選考委員会：平成 28 年 1 月 5 日

決定通知：平成 28 年 1 月

贈呈：平成 28 年 3 月 20 日

選考委員	室原 豊明	名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学教授
	赤羽 悟美	東邦大学医学部医学科生理学・統合生理学教授
	伊藤 宏	秋田大学大学院医学系研究科循環器内科学・呼吸器内科学教授
	尾池 雄一	熊本大学大学院生命科学研究部医学系分子遺伝学教授
	大石 充	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学教授
	小室 一成	東京大学大学院医学系研究科循環器内科学教授
	清水 渉	日本医科大学大学院医学研究科循環器内科学分野大学院 教授
	松居 喜郎	北海道大学大学院医学研究科外科系外科学講座循環器・ 呼吸器外科学教授
	湊口 信也	岐阜大学大学院医学系研究科循環呼吸病態学教授
	楽木 宏実	大阪大学大学院医学系研究科老年・腎臓内科学教授

### 5. 第 13 回日本心臓財団・アステラス動脈硬化 *Update* 研究助成

助成金額：200 万円を 1 件・100 万円を 2 件・30 万円を 2 件

応募資格：原則として日本国内の臨床教室およびそれに準ずる施設に所属の 1974 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募締切：平成 27 年 5 月 11 日

応募総数：37 件

決定通知：平成 27 年 9 月

選考委員長	石橋 俊	自治医科大学内分泌代謝学教授
選考委員	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科加齢医学教授
	荒井 秀典	自治医科大学内分泌代謝学教授
	上田 真喜子	大阪市立大学大学院医学研究科病理病態学教授
	酒井 寿郎	東京大学先端科学技術研究センター教授
	堀内 久徳	東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野教授
	山下 静也	大阪大学医学部附属病院循環器内科病院教授
	横手 幸太郎	千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学教授
	横出 正之	京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター 早期臨床試験部教授

## II. 研究者の留学費用に対する助成事業（別添対象者一覧参照）

### 1. 第 29 回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成

循環器疾患の研究に携わるわが国の研究者が海外の研究機関に留学するため助成

助成金額：1 件 300 万円を標準とし、原則として 10 件

応募資格：1976 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募受付：平成 27 年 10 月 1 日～11 月 30 日

応募数：42 件

選考委員会：平成 28 年 1 月 25 日

決定通知：平成 28 年 2 月

贈呈：平成 28 年 3 月 20 日

選考委員 片桐 敬 昭和大学名誉学長

相澤 義房 立川メディカルセンター研究開発部部长

井上 博 済生会富山病院院長

鄭 忠和 和温療法研究所所長

幕内 晴朗 大坪会北多摩病院院長

## III. 学会および研究会に対する助成事業

### 1. 公募助成

#### 1) 第 26 回日本心エコー学会学術集会

平成 27 年 3 月 26 日～28 日 北九州国際会議場

会長 尾辻豊（産業医科大学第 2 内科学教授）

#### 2) PCI Technical Education Course

平成 27 年 11 月 7 日～8 日 宮崎・インスティテュート宮崎

平成 27 年 11 月 21 日～22 日 東京・東京サイエンスセンター

世話人 村松俊哉（済生会横浜市東部病院循環器科部長）

#### 3) TOPIC 2015

平成 27 年 7 月 9 日～11 日 東京・セルリアンタワー東急ホテル

世話人 朝倉 靖（葛西昌医会病院循環器科部長）

#### 4) 第 14 回特発性心室細動研究会

平成 28 年 2 月 13 日 東京・大手町サンケイプラザ

代表幹事 青沼和隆（筑波大学医学医療系循環器内科教授）

- 5) 米国実験生物学会連合・夏の研究カンファレンス  
平成 28 年 8 月 7 日～12 日 米国・モンタナ州スノーマスビレッジ  
組織委員 依馬正次 (滋賀医科大学教授)

2. 指定助成・共催

- 1) 第 37 回美甘レクチャー (日本循環器学会特別招聘講演)  
平成 28 年 3 月 19 日、第 80 回日本循環器学会学術集会 (会長: 下川宏明東北大学大学院医学系研究科循環器内科学教授) にて
- 2) 第 28 回日本循環器病予防セミナー  
平成 27 年 7 月 29 日～8 月 2 日 新横浜国際ホテル  
実行委員長 水嶋春朔 (横浜市立大学大学院医学研究科疫学・公衆衛生学部門教授)

IV. 共同臨床研究等に対する助成事業

1. 虚血性心疾患に関する研究

- 1) Kumamoto Intervention Conference Study (KICS)  
代表 小川久雄 (小川久雄熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学教授)
- 2) 冠攣縮性狭心症患者に関する後ろ向き全国調査 (冠攣縮研究会)  
幹事 下川宏明 (東北大学大学院医学系研究科循環器病態学教授)
- 3) 職域コホートによる動脈硬化性疾患の原因解明と予防に関する研究 (OCCUPATION)  
代表 北風政史 (国立循環器病研究センター心臓血管内科部門部長)
- 4) IB-IVUS 研究  
代表 藤原久義 (兵庫県立尼崎病院院長)
- 5) 動脈硬化性疾患早期発見のための核医学的診断技術の確立とそれらの標準化  
代表 福島和人 (国立循環器病研究センター放射線診療部)
- 6) 腎機能障害を伴う患者を対象としたリーナルガードによる造影剤腎症防止方法  
代表 道下一朗 (国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院循環器内科部長)
- 7) J-COMPASS 研究  
代表 玉木長良 (北海道大学大学院医学研究科病態情報学講座核医学分野教授)

2. 虚血性心疾患と脂質低下療法に関する研究

- 1) 脂質異常症患者に対する Pitavastatin および EPA を用いた MDCT による冠動脈石灰化指標変化に関する多施設共同試験 (PEACH trial)  
代表 伊藤浩 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科学教授)
- 2) Randomized trial for Evaluation in Secondary Prevention Efficacy of Combination Therapy- Stain and Eicosapentaenoic Acid (RESPECT-EPA)  
代表 代田浩之 (順天堂大学医学部循環器内科教授)
- 3) 高 LDL コレステロール血症を有するハイリスク高齢患者 (75 歳以上) に対するエゼチミブの脳心血管イベント発症抑制効果に関する多施設共同無作為化比較試験

(EWTOPIA75)

代表 大内尉義（国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長）

- 4) 家族性高コレステロール血症に対する脂質低下療法の有効性及び安全性に関する調査（FAME 研究）

代表 山下静也（大阪大学医学部附属病院・病院教授）

3. 突然死に関する研究

本年度は該当する助成金支出なし。

4. 心房細動に関する研究

- 1) 心房細動例における心原性塞栓症予防のためのワルファリンならびに新規抗凝固薬使用の実態に関する多施設共同観察研究（J-RHYTHM Registry 2）

代表 井上 博（富山大学副学長）

- 2) オフポンプ冠状動脈バイパス術周術期におけるランジオロール塩酸塩の心房細動発生抑制に関する臨床試験（JL-KNIGHT study II）

代表 坂本篤裕（日本医科大学大学院疼痛制御麻酔科学教授）

5. 慢性心不全に関する研究

- 1) 慢性心不全患者に対する薬物治療に関する実態調査

代表 筒井裕之（北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授）

- 2) 拡張機能低下型心不全に対するニフェジピン CR の有効性の検討（DEMAND）

代表 筒井裕之（北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授）

- 3) 難治性の心不全患者に対するトルバプタン継続投与の QOL に対する有用性を検討する探索的ランダム化、非盲検、平行群間比較試験（AQUA-TLV）

代表 絹川弘一郎（東京大学大学院医学系研究科重症心不全開発講座特任准教授）

- 4) 心不全及び肥満者における心筋代謝

代表 泰江弘文（熊本加齢医学研究所所長）

6. 急性心不全に関する研究

本年度は該当する助成金支出なし。

7. 弁膜症に関する研究

- 1) 日本人における石灰化大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究（JASS）

代表 山本一博（鳥取大学医学部病態情報内科学教授）

8. 高血圧に関する研究

- 1) 本態性高血圧患者における潜在性心筋障害の検出

代表 藤原久義（兵庫県立尼崎病院院長）

9. 肺高血圧に関する研究

本年度は該当する助成金支出なし。

10. 糖尿病と心血管病に関する研究

- 1) 2型糖尿病患者におけるアスピリンの動脈硬化性疾患一次予防に関する研究 2（JPAD 2）

代表 斎藤能彦（奈良県立医科大学第一内科学教授）

V. 指定研究等の実施・助成事業

1. 生活習慣病改善プログラム  
2015年6月終了。
2. 予防医学のための携帯型心電計普及活動  
今期は助成実績なし。

VI. 個人または団体に対する褒賞事業

1. 第41回日本心臓財団佐藤賞  
平成28年3月19日、第80回日本循環器学会学術集会（会長：下川宏明東北大学教授）にて贈呈  
受賞者：家田真樹（慶應義塾大学医学部循環器内科専任講師）  
研究主題：心臓発生メカニズム解明と新しい心筋再生法の開発
2. 第4回「心臓」賞の贈呈  
平成28年3月19日、第80回日本循環器学会学術集会（会長：下川宏明東北大学教授）にて贈呈  
受賞者：最優秀賞 野呂瀬準（昭和大学医学部臨床病理診断学講座）  
優秀賞 大谷俊人（広島大学大学院循環器内科学）  
高木 泰（寒河江優美子（横浜市立大学循環器腎臓内科学）
3. 第40回日本心臓財団草野賞  
平成28年4月14日、第41回日本脳卒中学会総会（会長：寶金清博北海道大学教授）にて贈呈  
受賞者：服部頼都（国立循環器病研究センター再生医療部）  
研究主題：認知症を伴う選択的皮質下白質梗塞新規モデルマウス
4. 第30回日本心臓財団予防賞  
平成27年6月26日、第51回日本循環器病予防学会総会（会長：磯博康大阪医科大学教授）にて贈呈  
受賞者：家森幸男（武庫川女子大学国際開発研究所所長）  
研究課題：基礎病理から栄養疫学研究に基づく循環器疾患予防の実践
5. 第11回日本心臓財団小林太刀夫賞  
平成27年6月26日、第51回日本循環器病予防学会総会（会長：磯博康大阪医科大学教授）にて贈呈  
受賞者：新潟県庁並びに新潟県設置保健所  
研究課題：にいがた減塩ルネサンス運動の企画・計画・実施・普及活動
6. 第20回日本心電学会学術奨励賞  
平成26年7月22日、第32回日本心電学会学術集会（会長：小林洋一昭和大学教授）にて贈呈  
受賞者：最優秀賞 福山恵（滋賀医科大学呼吸循環器内科）  
〃 山田優子（京都大学医学部附属病院循環器内科）  
優秀賞 時岡浩二（岡山大学大学院医歯学研究科循環器内科）  
〃 滝川正晃（横須賀共済病院循環器センター）

7. 第1回日本心臓財団・フィリップス心不全陽圧治療研究奨励賞

平成28年2月27日、第10回心不全陽圧治療研究会（担当世話人：竹石恭和福  
島県立医科大学教授）にて贈呈

受賞者：論文賞 木村雄弘（慶應義塾大学病院循環器内科）  
発表賞 後藤慶大（伊勢崎市民病院循環器内科）  
濱岡卓人（金沢大学附属病院恒常制御学）

VII. 広報啓発事業

1. インターネット「心臓財団のホームページ」関連啓発活動

1) 一般向けにはセカンドオピニオンによる相談をはじめ心臓血管病に関する正しい知識の普及、講演会・健康イベントの案内を、医師・研究者向けには循環器最新情報、研究助成の募集案内等医学関連情報を提供。

ホームページアドレスは、<http://www.jhf.or.jp/>

年間アクセス数433万件を超えました（Google Analytics）。

セカンドオピニオン相談数は年間1,563件（昨年度734件より2倍以上）。

2) 動脈硬化予防啓発センターとの共同による動脈硬化予防啓発ウェブサイト「血管健康くらぶ」運営。年間アクセス数27,677件

2. 日本循環器学会との協力事業

市民公開講座の開催

第80回日本循環器学会学術集会との共催事業

期 日：平成28年3月5日

場 所：仙台国際センター

主 題：健康長寿のための心臓病の知識

3. 市民公開講座の共催および後援

- ・第8回呉市民ハートフォーラム（主催：呉循環器病研究会）

主 題：心臓病からあなたと家族を守るために～メタボ撃退～

期 日：平成27年5月9日

場 所：広島・呉市文化ホール

- ・日本循環器学会心臓移植市民公開講座

主 題：大切な人のために、今知っておきたい心臓病の病気と最新治療～補助人工心臓と心臓移植～

期 日：平成27年7月25日

場 所：横浜：はまぎんホール

- ・心・血管予防デー（主催：日本心・血管病予防会）

期 日：平成27年9月13日

場 所：東京・国際医療福祉大学大学院

- ・設立10周年「市民公開セミナー」（主催：NPO法人大阪ライフサポート協会）

期 日：平成28年3月13日

場 所：大阪・新大阪ワシントンプラザ

4. 「健康ハートの日」活動

- 1) 健康ハートの日キャンペーン  
8月10日がハートと読み取れることからこの日を「健康ハートの日」と定め、心臓血管病の予防活動を行いました。
  - ・8月10日 健康ハートの日 2015  
東京・丸の内オアゾ 1階〇〇広場にて血圧・動脈硬化度・体脂肪の測定、心電図検査と健康・栄養相談
  - ・8月10日 ハートの日・豊橋・名古屋・岐阜・京都  
講演会、血圧・体脂肪の測定、血液・心電図検査、心臓病・歯周病・食事・栄養相談、運動指導、救急蘇生法の講習
- 2) 「ハートレシピ」エドワーズライフサイエンス社、高知県、高知大学とコラボし、高知県の特産品を使った心臓にやさしいメニューを開発。健康ハートの日に合わせて発表。
5. 禁煙推進活動  
たばこ健康問題 NGO 協議会による禁煙推進、世界禁煙デー・イベントの共催。禁煙推進学術ネットワークの活動助成。
6. AED・心肺蘇生普及活動
  - ・医師、救命士、団体、メディアが協力する「減らせ突然死プロジェクト」に参加・推進。
  - ・PUSH プロジェクト（AED および胸骨圧迫のみの心肺蘇生法の普及啓発活動）の推進：第7回全国でPUSH運動（8月10日中心）開催。
  - ・AEDを使用した心肺蘇生法普及500人講習会（神戸市、9月27日）後援（主催：健康スポーツ関連施設連絡協議会）。
7. 日本心臓財団メディアワークショップの開催  
メディアに心臓血管病に関する最新の話題を提供し、そのメディアから一般市民に対して正しい情報を伝えてもらうためのメディアワークショップを開催しました。  
第19回 期 日：平成28年2月26日  
場 所：東京・TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター  
テーマ：足元の冷えに要注意！気温感受性高血圧とは？  
～温度と血圧、循環器病の関係～
8. 患者団体・予防活動団体への協力  
日本心臓ペースメーカー友の会、全国心臓病の子どもを守る会、川崎病の子供をもつ親の会等事業への協力
9. 日本川崎病研究センター事業への協力
10. トーアエイヨー(株)によるラジオ NIKKEI 「心臓財団虚血性心疾患セミナー」  
細田瑛一顧問を企画委員長に企画委員会を組織
11. 月刊誌「心臓」の発行（日本循環器学会との共同発行）  
山口徹常任理事を編集委員長に編集委員会を組織  
日本循環器学会との共同発行で投稿論文を中心に医師向け雑誌を12号（月刊）発行しました。
12. 機関紙の発行  
心臓財団季報として年4回発行しました。

平成27年度日本心臓財団研究奨励  
対象研究者

第41回日本心臓財団研究奨励

(五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)

番号	氏名	所属	研究課題
1	荒木 智 (35歳)	熊本大学医学部附属病院 循環器内科 特任助教	血管病変における Sirt7 の機能解明
2	飯野 賢治 (39歳)	金沢大学附属病院 心臓血管外科 臨床教授	冠動脈吻合の数値流体力学および粒子画像流速測定法を用いた流体力学的解析
3	上田 和孝 (39歳)	東京大学大学院医学系研究科 健康医科学創造講座 特任助教	エストロゲンによる肥満制御と動脈硬化抑制機序の解明
4	小澤 公哉 (34歳)	千葉大学医学部附属病院 検査部 医員	心筋疾患に対する四次元 CT、経胸壁心エコーを用いた最新心筋ストレーン解析の有用性
5	北原 大翔 (32歳)	慶應義塾大学医学部 外科(心臓血管) 助教	全心臓脱細胞化技術を用いた生体組織由来補助人工心臓の作成
6	遠山 周吾 (33歳)	慶應義塾大学医学部 循環器内科 助教	代謝制御による臨床グレードのヒト iPS 細胞由来成熟心筋細胞の作製と創薬への応用
7	永井 利幸 (37歳)	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 医師	心臓サルコイドーシスの発症・進展における局所リンパ管増生および樹状細胞
8	原 哲也 (38歳)	神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学 特命助教	新規の血管接着因子、JCAD が血栓形成を制御する分子機構の解明
9	増田 佳純 (36歳)	大阪大学大学院医学系研究科 機能診断科学講座 助教	新しい心筋ストレーン解析指標を用いた虚血メモリー診断の開発
10	山城 義人 (33歳)	筑波大学 生命領域学際研究センター 助教	大動脈瘤マウスモデルを用いた血管壁の機械刺激応答と弾性線維形成機構の解明



## 第6回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励

(五十音順・敬称略・奨励金額は各100万円)

番号	氏名	所属	研究課題
1	沖 健 司 (39歳)	広島大学大学院 分子内科学 助教	小胞体シャペロンを基盤にしたアルドステロン合成機構の解明と新規降圧薬の開発
2	蘭 倫 久 (34歳)	慶應義塾大学医学部 救急科 助教	ヒト心筋細胞移植療法実現へ向けた患者移植用 iPS 細胞株の樹立および選抜法の最適化
3	田 中 宏 樹 (40歳)	浜松医科大学 医生理学講座 助教	Plasminogen activator /plasmin 系の制御による腹部大動脈瘤進展の抑制

## 第6回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励

(敬称略・奨励金額は100万円)

番号	氏名	所属	研究課題
1	椎 名 由 美 (38歳)	聖路加国際病院 心血管センター循環器内科 医員	成人先天性心疾患フォンタン循環における心臓・腹部血流異常と主要合併症との関係

## 第3回拡張型心筋症治療開発研究助成 (ほのかちゃん基金)

(五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)

番号	氏名	所属	研究課題
1	尾 上 健 児 (44歳)	奈良県立医科大学 第1内科学教室 助教	特発性心筋症治療法を目指した新規メッセンジャーRNA 補充療法の開発
2	鈴 木 淳 一 (50歳)	東京大学大学院医学系研究科 先端臨床医学開発講座 特任准教授	生体内吸収シートから導入される核酸医薬による拡張型心筋症の治療

第13回日本心臓財団・アステラス・ファイザー  
「動脈硬化Update」研究助成対象研究者

(順不同、敬称略、金額単位：万円)

番号	氏名	所属	研究課題	金額
1	あべ とうへい 阿部 陽平 (30歳)	東京大学先端科学技術研究センター 代謝医学分野 特任研究員	環境因子に応答したヒストン脱メチル化酵素JMJD1Aによる熱産生関連遺伝子制御メカニズムの解明	200
2	にし の ともひろ 西野 共達 (32歳)	京都大学大学院医学研究科 循環器内科 大学院生	MicroRNA-33a/bの動脈硬化性疾患における役割と治療法の開発	100
3	みやまき たくろう 宮崎 拓郎 (38歳)	昭和大学医学部 生化学講座 講師	動脈硬化症におけるリンパ管カルパインシステムの役割	100
4	ありま ゆういちろう 有馬 勇一郎 (35歳)	熊本大学医学部附属病院 循環器内科 特任助教	胎性期飢餓ストレスによる内皮細胞の変容と動脈硬化との関連	30
5	ただ はやと 多田 隼人 (36歳)	金沢大学附属病院 救急部 (循環器内科) 助教	原発性重症高中性脂肪血症における新規原因分子の網羅的解析及びその機能解析	30

第29回日本心臓財団・バイエル薬品  
海外留学助成対象研究者

(五十音順・敬称略・助成金額は各300万円)

番号	氏名	所属	研究課題	留学先
1	秋山 英一 (36歳)	横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター 助教	左室収縮能が保たれた急性心不全患者における左房機能評価の臨床的重要性	ラリボワジュール病院 (フランス)
2	石井陽一郎 (38歳)	群馬大学医学部附属病院 小児科学分野 助教	出生前診断に基づいた低侵襲胎児心臓病治療時の血行動態変化の検討	ギーセン大学 (ドイツ)
3	井戸田佳史 (35歳)	東京大学医学部附属病院 心臓外科 助教	体外心臓灌流法 (Ex-Vivo Heart Perfusion) によるドナー心の長時間保存と心停止ドナーの使用について	クリーブランドクリニック (米国)
4	今村 輝彦 (35歳)	東京大学医学部附属病院 重症心不全治療開発講座 特任助教	重症心不全に対する補助人工心臓・心臓移植治療を含めた集学的治療戦略の構築	シカゴ大学 (米国)
5	桂田 健一 (36歳)	自治医科大学医学部内科学講座 循環器内科学部門 病院助教	視床下部-脳幹-腎神経連関による循環調節機構の解明と高血圧・心不全治療への応用	ネブラスカ大学 (米国)
6	野田 一樹 (35歳)	岩手県立中央病院 循環器科 医長	血管弛緩反応におけるAMPKと活性酸素種(ROS)との関わりについての検討	キングスカレッジ (英国)
7	原田 成 (31歳)	慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学 助教	日英の大規模メタボロミクス疫学研究による循環器疾患バイオマーカーの解明と国際比較	インペリアル・カレッジ (英国)
8	関 庚徳 (38歳)	国立循環器病研究センター 臨床研究部 研究員	アディポカインによる新しい心リモデリング制御機構の解明	ボストン大学 (米国)
9	村上 正憲 (33歳)	東京医科歯科大学 分子内分泌代謝学分野 特任助教	原発性アルドステロン症のゲノム情報に基づく病態解明と臨床データとの統合解析	ミュンヘン大学 (ドイツ)
10	森川 久未 (30歳)	鳥取大学医学部附属病院 特命助教	iPSテクノロジーを用いた先天性QT延長症候群タイプ6の病因・病態解明	コロンビア大学 (米国)